

## 環境マネジメントシステムの推進

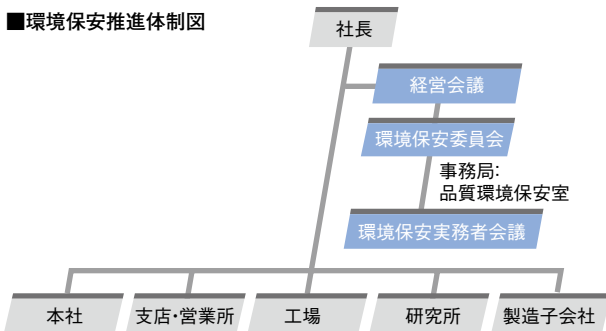
荒川化学グループでは、「環境保安基本方針」および「環境保安行動指針」を基に各事業所で計画を立て環境に配慮した活動を実施しています。

### 環境保安推進体制

環境保安委員会は、保安担当役員を委員長に、実施責任者である関連部門長（品質環境保安室長、総務部長、研究所長、生産統轄部副統轄部長、大阪工場長、富士工場長、水島工場長、小名浜工場長、水島工場品質環境保安課長）をメンバーとして年1回の定例会議を開催し、2006年度からは社長も出席しています。

この定例会議では、前年度の活動実績報告および当年度の環境保安年度計画を審議しています。環境保安委員会の下部組織として、各部門の実務者からなる環境保安実務者会議を設置し、具体的な問題を解決していく活動を続けています。

#### ■環境保安推進体制図



### ISO 14001 認証取得状況

荒川化学の大阪・富士・水島・小名浜の主力4工場とペルノックスは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得をしています。2008年度は、それぞれ維持審査を受審し合格しました。

#### ■審査状況

事業所名	登録番号	認証取得日	審査実施日
水島工場	JQA-EM0369	1999年3月12日	2009年02月24-26日
富士工場	JQA-EM1427	2001年3月16日	2009年02月24-26日
小名浜工場	JQA-EM1577	2001年5月18日	2008年05月21-23日
大阪工場	JQA-EM1590	2001年5月25日	2008年05月13-14日
ペルノックス	JQA-EM3719	2004年1月30日	2008年12月18-19日

※審査登録機関は、すべて(財)日本品質保証機構です。  
※大阪工場は、研究所、研究工場を含んでいます。

### 高圧化学・エコアクション21 認証取得

高圧化学は、中小企業に適しているといわれている「エコアクション21」を認証取得しました。これにより、環境マネジメントシステム、環境パフォーマンス評価、環境コミュニケーションが整備されました。(登録番号:0002736、登録日:2008年8月1日)



エコアクション21登録証

### その他事業所の状況

釧路・徳島・鶴崎工場は、エコアクション21荒川版を構築しました。2009年度は、この環境マネジメントシステムで、環境負荷削減活動のPDCAを回していきます。

また、本社、支店、営業所は、2009年度中には、環境マネジメントシステムを構築します。



エコアクション21荒川版の環境マニュアル

### 環境保安監査

荒川化学グループでは環境保安管理規定に基づき、品質環境保安室が毎年、本社、支店・営業所、工場、研究所および国内連結製造子会社の内部監査を実施しています。

2008年度は、環境および安全に関する重要なリスクを選定し、そのリスクに対して適切に対処しているかどうかに関する監査を実施しました。今回のリスクに対しては、適切に対処していることを確認しました。

2009年度は、「リスクの洗い出し」と「リスクの評価」を再度実施して重要リスクを選定することで、さらに有効な監査ができると考えています。



保安監査風景

#### VOICE

エコアクション21認証・登録取得のためシステムを運用し、業務の効率化を図りました。例えば廃棄物の削減は、廃溶剤をリサイクルすることで、従来「廃棄物」として焼却処分していたものを「商品」として再生業者に販売しました。CO<sub>2</sub>排出を削減でき、しかも資源を効率化できるこうした取り組みが、未来へ資源を残すことにつながると実感できました。



高圧化学工業(株)  
生産部 製造課  
永井 泰三